

農林水産委員会

委員一覧（20名）

委員長	渡辺 猛之（自民）	中西 祐介（自民）	田名部 匡代（民進）
理事	舞立 昇治（自民）	野村 哲郎（自民）	舟山 康江（民進）
理事	山田 修路（自民）	平野 達男（自民）	竹谷 とし子（公明）
理事	徳永 エリ（民進）	藤木 眞也（自民）	矢倉 克夫（公明）
理事	紙 智子（共産）	山田 俊男（自民）	儀間 光男（維新）
	磯崎 陽輔（自民）	小川 勝也（民進）	森 ゆうこ（希望）
	進藤 金日子（自民）	櫻井 充（民進）	

（1）審議概観

第193回国会において、本委員会に付託された法律案は、内閣提出8件（うち本院先議1件）、衆議院提出1件（農林水産委員長）及び本院議員提出1件の合計10件であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願1種類14件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

特殊土地帯災害防除及び振興臨時措置法の一部を改正する法律案は、特殊土地帯における治山、河川改修、砂防、かんがい排水、農道整備、畑作振興等の対策事業を引き続き実施するため、現行法の有効期限を更に5年延長し、平成34年3月31日までとするものである。委員会では、提出者の衆議院農林水産委員長より趣旨説明を聴取した後、全会一致をもって可決された。

農林物資の規格化等に関する法律及び独立行政法人農林水産消費安全技術センター法の一部を改正する法律案は、我が国農林水産業の国際競争力の強化を図るため、日本農林規格（JAS規格）に農林物資の取扱方法等についての基準を追加するとともに、独立行政法人農林水産

消費安全技術センターの業務として認証機関の能力を評価する業務を追加する等の措置を講じようとするものである。委員会では、JAS制度が果たしてきた役割、法改正の目的と輸出促進への効果、JAS規格の国際規格化に向けた展望等について質疑が行われた。質疑を終了した後、自由民主党・こころ、民進党・新緑風会、公明党、日本維新の会及び希望の会（自由・社民）から、農林水産大臣が、事業者等から日本農林規格の制定に係る申出を受けたときは、速やかに検討を加えることとし、必要と認める場合には、自らが規格案を作成することを明確化することを内容とする修正案が提出された。討論の後、修正案及び修正部分を除く原案はいずれも多数をもって可決され、本法律案は修正議決された。

農業機械化促進法を廃止する等の法律案は、平成30年4月1日に農業機械化促進法を廃止するとともに、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構法における機構の業務に係る規定の整備を行おうとするものである。なお、衆議院において、機構の業務に係る規定の整備範囲について、農業等に関する技術上の

検査を農機具についての検査に限定する修正が行われた。

また、主要農作物種子法を廃止する法律案は、種子生産者の技術水準の向上等による種子の品質の安定など、農業をめぐる状況の変化に鑑み、平成30年4月1日に主要農作物種子法を廃止するものである。

委員会では、両法律案を一括して議題とし、参考人を招致してその意見を聴取するとともに、2法を廃止する理由、農業機械の安全性への影響、種子について都道府県の取組が後退する懸念、種子の確保に対する国の責務等について質疑が行われ、討論の後、いずれも多数をもって可決された。なお、主要農作物種子法を廃止する法律案に対し、附帯決議が付された。

農業競争力強化支援法案は、農業者による農業の競争力の強化の取組を支援するため、良質かつ低廉な農業資材の供給又は農産物流通等の合理化の実現に関し、国の責務及び国が講ずべき施策等を定め、農業生産関連事業の再編等を促進するための措置を講じようとするものである。委員会では、参考人を招致してその意見を聴取するとともに、農業者等の努力義務、本法律案と農協改革との関係、農業所得の向上効果等について質疑が行われ、討論の後、多数をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

土地改良法等の一部を改正する法律案は、農用地の利用の集積その他農業生産の基盤の整備を促進するため、農地中間管理機構が賃借権等を取得した農用地を対象とし、農業者の費用負担を求めない土地改良事業を創設する等の措置を講じようとするものである。委員会では、農業者の費用負担のない土地改良事業の新

設と公平性、新設される事業の具体的な要件、土地改良事業における農業者の同意の在り方等について質疑が行われ、討論の後、多数をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

農村地域工業等導入促進法の一部を改正する法律案は、農村地域への導入を促進する産業の業種を全業種に拡大する等の措置を講じようとするものである。委員会では、導入対象業種を拡大する趣旨、就業機会を提供する対象者、優良農地を確保する必要性等について質疑が行われ、討論の後、多数をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

畜産経営の安定に関する法律及び独立行政法人農畜産業振興機構法の一部を改正する法律案は、需給状況に応じた乳製品の安定供給の確保等を図るため、加工原料乳に係る生産者補給金等の制度を恒久化するとともに、補給金等の交付対象を拡大する等の措置を講じようとするものである。委員会では、参考人を招致してその意見を聴取するとともに、生乳の需給への影響、集送乳調整金等の交付要件、バター不足問題解消の見込み等について質疑が行われ、討論の後、多数をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

商業捕鯨の実施等のための鯨類科学調査の実施に関する法律案は、商業捕鯨の実施等のための鯨類科学調査を安定的かつ継続的に実施するために必要な事項を定めることにより、商業捕鯨の実施による水産業等の発展及び海洋生物資源の持続的な利用への寄与を目的とするものである。委員会では、南極海及び我が国沿岸における捕鯨の在り方等について質疑が行われ、全会一致をもって可決された。

農業災害補償法の一部を改正する法律

案は、農業経営の安定を図るため、農業経営収入保険制度を創設するとともに、農業共済事業について、加入方式等の見直しを行い、これに伴い、法律の題名を「農業保険法」に改めようとするものである。なお、衆議院において、農業保険への加入促進に関する規定を追加する等の修正が行われた。委員会では、参考人を招致してその意見を聴取するとともに、農業共済の役割と見直しの在り方、収入保険制度導入の意義、改正趣旨の十分な周知等について質疑が行われ、討論の後、多数をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

〔国政調査等〕

平成29年3月7日、平成29年度の農林水産行政の基本施策に関する件について、山本農林水産大臣から所信を聴取し、3月9日、これに対し、2015年の農業総産出額及び生産農業所得が過去11年で最も高い水準となった要因、米国離脱表明後のTPPへの日本の対応方針、米の消費減少への対応策及び小麦など代替作物の振興策、肉用牛・乳用牛の生産をめぐる現状認識及び生産基盤強化に向けた方策、農協に対し信用事業の譲渡・代理店化の是非について判断を急ぐよう求めたとされる大臣の発言の真意及び農協改革への基本的認識、貸借した生産緑地に対する相続税納税猶予の特例適用に向けた取組、国営諫早湾干拓事業の開門問題に関する和解協議に関し農林水産省が漁業者の説得用に想定問答を作成したとの報道に関する見解、2017年1月の大雪による農業被害に対し早期に復旧支援措置を講ずる必要性等について質疑を行った。

3月22日、予算委員会から委嘱された平成29年度農林水産省所管予算の審査を

行い、日米経済対話における我が国の農林水産分野の対応方針、獣医学部の新設が国家戦略特別区域制度の目的に適合する理由、国際農産物等市場構想推進事業の支援対象となる卸売市場、平成29年度予算における森林吸収源対策の内容、漁業の新規就業者についても農業並みの支援を行う必要性等について質疑を行った。

3月30日、今国会に農林水産省として8法案を提出した背景、日米経済対話等の通商交渉によりTPP協定を上回る水準の農産物市場の開放を求められる懸念、国家戦略特別区域における獣医学部新設決定の経緯、東京オリンピック・パラリンピックの水産物調達基準と都道府県の資源管理計画の関係、国際的な漁業交渉の結果の周知や国際交渉におけるPDCAサイクルの重要性等について質疑を行った。

4月6日、国家戦略特別区域において獣医学部の新設を1校に限るとした経緯、国家戦略特別区域における獣医学部新設に係る3大臣合意文書の作成期日の確認、東日本大震災に伴う風評被害への対応、養豚業界が取り組んでいるチェックオフの法制化の必要性、ビキニ環礁における米国の水爆実験によって我が国の多くの漁船員が被ばくした問題に対する大臣の認識等について質疑を行った。

5月16日、農林水産物等の輸出目標達成に向けた具体的取組、HACCPの義務化に向けた検討状況及び中小事業者に対する導入支援策、国家戦略特別区域において獣医学部を新設することの目的、沖縄県の畜産業にとって課題である飼料の輸送コスト削減及び備蓄量増大に向けた支援策、ロシア二百海里水域内のさけ・ます流し網漁禁止が北海道道東地域経済に与える影響並びに代替漁業支援等の緊

急対策の概要及び効果、法的拘束力のない規制改革推進会議の提言ではなく法律に基づき農林水産省が中心になって農協改革に取り組むことの必要性等について質疑を行った。

5月23日、国家戦略特別区域における獣医学部新設決定の経緯と日本再興戦略改訂2015との関係、競馬におけるギャンブル等依存症対策として本人又は家族の申告により勝馬投票券の購入を制限する措置を設ける必要性、農業農村整備事業の予算配分について農地中間管理機構関連事業を優先することでそれ以外の事業が後回しになる懸念、「多様な木材需要に対応するための需給動向調査」により明

らかになった国産広葉樹材の需要拡大に向けた課題及び対策、シイタケの品質表示に関する法令上の基準、弾道ミサイル発射による日本海側地域の漁業への影響及び有事に備えた漁業取締体制の現状等について質疑を行った。

6月1日、獣医師等に関する件を議題とし、獣医師の需給動向に関する農林水産省の認識、国家戦略特別区域における獣医学部新設に伴う定員増が獣医師の需給見通しに及ぼす影響、国家戦略特別区域制度の意義、新規就農者増加の要因及びこれに対する農林水産省の所見、森林の循環利用に向けた対策等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

平成29年3月7日(火)(第1回)

- 農林水産に関する調査を行うことを決定した。
- 平成29年度の農林水産行政の基本施策に関する件について山本農林水産大臣から所信を聴いた。

平成29年3月9日(木)(第2回)

- 政府参考人の出席を定めることを決定した。
- 平成29年度の農林水産行政の基本施策に関する件について山本農林水産大臣、磯崎農林水産副大臣、矢倉農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

野村哲郎君(自民)、平野達男君(自民)、進藤金日子君(自民)、櫻井充君(民進)、徳永エリ君(民進)、紙智子君(共産)、儀間光男君(維新)、竹谷とし子君(公明)、森ゆうこ君(希望)

平成29年3月22日(水)(第3回)

- 政府参考人の出席を定めることを決定した。
- 平成二十九年度一般会計予算(衆議院送付)
- 平成二十九年度特別会計予算(衆議院送付)
- 平成二十九年度政府関係機関予算(衆議院送

付)

(農林水産省所管)について山本農林水産大臣から説明を聴いた後、同大臣、磯崎農林水産副大臣、細田農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

舞立昇治君(自民)、櫻井充君(民進)、徳永エリ君(民進)、竹谷とし子君(公明)、紙智子君(共産)、儀間光男君(維新)、森ゆうこ君(希望)

本委員会における委嘱審査は終了した。

平成29年3月30日(木)(第4回)

- 政府参考人の出席を定めることを決定した。
- 農業の競争力強化と農村への影響に関する件、日米経済対話等の通商交渉の在り方に関する件、国家戦略特別区域における獣医学部の新設に関する件、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における農畜水産物の調達基準に関する件、漁業の国際交渉の在り方に関する件等について山本農林水産大臣、磯崎農林水産副大臣、松本内閣府副大臣、樋口文部科学大臣政務官、矢倉農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行っ

た。

〔質疑者〕

中西祐介君（自民）、舟山康江君（民進）、
竹谷とし子君（公明）、紙智子君（共産）、
儀間光男君（維新）、森ゆうこ君（希望）

- 特殊土地帯災害防除及び振興臨時措置法の一部を改正する法律案（衆第3号）（衆議院提出）について提出者衆議院農林水産委員長北村茂男君から趣旨説明を聞いた後、可決した。

（衆第3号）

賛成会派 自民、民進、公明、共産、維新、
希望

反対会派 なし

- 農林物資の規格化等に関する法律及び独立行政法人農林水産消費安全技術センター法の一部を改正する法律案（閣法第35号）について山本農林水産大臣から趣旨説明を聞いた。

平成29年4月4日（火）（第5回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 農林物資の規格化等に関する法律及び独立行政法人農林水産消費安全技術センター法の一部を改正する法律案（閣法第35号）について山本農林水産大臣、磯崎農林水産副大臣、松本内閣府副大臣、義家文部科学副大臣、矢倉農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、修正議決した。

〔質疑者〕

藤木真也君（自民）、進藤金日子君（自民）、
櫻井充君（民進）、田名部匡代君（民進）、
竹谷とし子君（公明）、紙智子君（共産）、
儀間光男君（維新）、森ゆうこ君（希望）

（閣法第35号）

賛成会派 自民、民進、公明、維新、希望
反対会派 共産

平成29年4月6日（木）（第6回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 国家戦略特別区域における獣医学部の新設に関する件、東日本大震災からの農林水産業復興支援に関する件、チェックオフ制度の導入に関する件、ピキニ環礁での水爆実験による被ばく問題に関する件等について山本農林水

産大臣、松本内閣府副大臣、義家文部科学副大臣、矢倉農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

舞立昇治君（自民）、田名部匡代君（民進）、
櫻井充君（民進）、紙智子君（共産）、儀間
光男君（維新）、森ゆうこ君（希望）

- 農業機械化促進法を廃止する等の法律案（閣法第22号）（衆議院送付）

主要農作物種子法を廃止する法律案（閣法第23号）（衆議院送付）

以上両案について山本農林水産大臣から趣旨説明を、農業機械化促進法を廃止する等の法律案（閣法第22号）（衆議院送付）の衆議院における修正部分について修正案提出者衆議院議員岸本周平君から説明を聞いた。

平成29年4月11日（火）（第7回）

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 農業機械化促進法を廃止する等の法律案（閣法第22号）（衆議院送付）

主要農作物種子法を廃止する法律案（閣法第23号）（衆議院送付）

以上両案について山本農林水産大臣、磯崎農林水産副大臣、松本内閣府副大臣、矢倉農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

山田修路君（自民）、徳永エリ君（民進）、
舟山康江君（民進）、竹谷とし子君（公明）、
紙智子君（共産）、儀間光男君（維新）、森
ゆうこ君（希望）

平成29年4月13日（木）（第8回）

- 農業機械化促進法を廃止する等の法律案（閣法第22号）（衆議院送付）

主要農作物種子法を廃止する法律案（閣法第23号）（衆議院送付）

以上両案について次の参考人から意見を聞いた後、両参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

秋田県農林水産部長 佐藤博君
龍谷大学経済学部教授 西川芳昭君

〔質疑者〕

進藤金日子君（自民）、小川勝也君（民進）、
竹谷とし子君（公明）、紙智子君（共産）、
儀間光男君（維新）、森ゆうこ君（希望）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 農業機械化促進法を廃止する等の法律案（閣法第22号）（衆議院送付）
主要農作物種子法を廃止する法律案（閣法第23号）（衆議院送付）

以上両案について山本農林水産大臣、磯崎農林水産副大臣、松本内閣府副大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、いずれも可決した。

〔質疑者〕

進藤金日子君（自民）、舟山康江君（民進）、
竹谷とし子君（公明）、紙智子君（共産）、
儀間光男君（維新）、森ゆうこ君（希望）

（閣法第22号）

賛成会派 自民、民進、公明、維新、希望
反対会派 共産

（閣法第23号）

賛成会派 自民、公明、維新
反対会派 民進、共産、希望

なお、主要農作物種子法を廃止する法律案（閣法第23号）（衆議院送付）について附帯決議を行った。

平成29年4月25日（火）（第9回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 農業競争力強化支援法案（閣法第21号）（衆議院送付）について山本農林水産大臣から趣旨説明を聴いた後、同大臣、松本内閣府副大臣、義家文部科学副大臣、盛山法務副大臣、磯崎農林水産副大臣、矢倉農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

山田俊男君（自民）、藤木眞也君（自民）、
櫻井充君（民進）、田名部匡代君（民進）、
若松謙維君（公明）、紙智子君（共産）、儀
間光男君（維新）、森ゆうこ君（希望）

また、同法案について参考人の出席を求めることを決定した。

平成29年4月27日（木）（第10回）

- 農業競争力強化支援法案（閣法第21号）（衆議院送付）について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

鈴盛農園代表 鈴木啓之君
横浜国立大学名誉教授
大妻女子大学名誉教授 田代洋一君
宮城県農民運動連合会事務局長 鈴木弥弘君

〔質疑者〕

山田修路君（自民）、舟山康江君（民進）、
竹谷とし子君（公明）、紙智子君（共産）、
儀間光男君（維新）、森ゆうこ君（希望）

平成29年5月9日（火）（第11回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 農業競争力強化支援法案（閣法第21号）（衆議院送付）について山本農林水産大臣、松本内閣府副大臣、磯崎農林水産副大臣、矢倉農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局した。

〔質疑者〕

徳永エリ君（民進）、竹谷とし子君（公明）、
紙智子君（共産）、儀間光男君（維新）、森
ゆうこ君（希望）、平野達男君（自民）

平成29年5月11日（木）（第12回）

- 農業競争力強化支援法案（閣法第21号）（衆議院送付）について討論の後、可決した。

（閣法第21号）

賛成会派 自民、公明、維新
反対会派 民進、共産、希望

なお、附帯決議を行った。

平成29年5月16日（火）（第13回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 農林水産物等の輸出促進策に関する件、国家戦略特別区域における獣医学部の新設に関する件、沖縄における畜産振興に関する件、ロシアによるさけ・ます流し網漁禁止への対応策に関する件等について山本農林水産大臣、松本内閣府副大臣、義家文部科学副大臣、磯崎農林水産副大臣、矢倉農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

- 櫻井充君（民進） 徳永エリ君（民進） 竹谷とし子君（公明） 紙智子君（共産） 儀間光男君（維新） 森ゆうこ君（希望） 山田修路君（自民）
- 土地改良法等の一部を改正する法律案（閣法第28号）（衆議院送付）について山本農林水産大臣から趣旨説明を聴いた。
平成29年5月18日（木）（第14回）
 - 政府参考人の出席をを求めることを決定した。
 - 土地改良法等の一部を改正する法律案（閣法第28号）（衆議院送付）について山本農林水産大臣、磯崎農林水産副大臣、義家文部科学副大臣、松本内閣府副大臣、矢倉農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。
〔質疑者〕
進藤金日子君（自民） 櫻井充君（民進） 竹谷とし子君（公明） 紙智子君（共産） 儀間光男君（維新） 森ゆうこ君（希望）
（閣法第28号）
賛成会派 自民、民進、公明、維新、希望
反対会派 共産
なお、附帯決議を行った。
平成29年5月23日（火）（第15回）
 - 政府参考人の出席をを求めることを決定した。
 - 国家戦略特別区域における獣医学部の新設に関する件、競馬におけるギャンブル等依存症対策に関する件、農業農村整備事業の予算配分の在り方に関する件、国産広葉樹材の需要拡大に関する件、キノコ類の品質表示基準に関する件、弾道ミサイル発射による日本海側地域の漁業への影響に関する件等について山本農林水産大臣、萩生田内閣官房副長官、義家文部科学副大臣、松本内閣府副大臣、磯崎農林水産副大臣、矢倉農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。
〔質疑者〕
櫻井充君（民進） 舟山康江君（民進） 竹谷とし子君（公明） 紙智子君（共産） 儀間光男君（維新） 森ゆうこ君（希望） 舞立昇治君（自民）
 - 農村地域工業等導入促進法の一部を改正する

- 法律案（閣法第29号）（衆議院送付）について山本農林水産大臣から趣旨説明を聴いた。
平成29年5月25日（木）（第16回）
- 政府参考人の出席をを求めることを決定した。
 - 農村地域工業等導入促進法の一部を改正する法律案（閣法第29号）（衆議院送付）について山本農林水産大臣、磯崎農林水産副大臣、松本内閣府副大臣、義家文部科学副大臣、矢倉農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。
〔質疑者〕
山田修路君（自民） 徳永エリ君（民進） 田名部匡代君（民進） 櫻井充君（民進） 竹谷とし子君（公明） 紙智子君（共産） 儀間光男君（維新） 森ゆうこ君（希望）
（閣法第29号）
賛成会派 自民、公明、維新
反対会派 民進、共産、希望
なお、附帯決議を行った。
平成29年6月1日（木）（第17回）
 - 政府参考人の出席をを求めることを決定した。
 - 獣医師等に関する件について山本農林水産大臣、萩生田内閣官房副長官、義家文部科学副大臣、松本内閣府副大臣、磯崎農林水産副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。
〔質疑者〕
舟山康江君（民進） 田名部匡代君（民進） 竹谷とし子君（公明） 紙智子君（共産） 儀間光男君（維新） 森ゆうこ君（希望）
 - 畜産経営の安定に関する法律及び独立行政法人農畜産業振興機構法の一部を改正する法律案（閣法第40号）（衆議院送付）について山本農林水産大臣から趣旨説明を聴いた。
また、同法律案について参考人の出席をを求めることを決定した。
平成29年6月6日（火）（第18回）
 - 政府参考人の出席をを求めることを決定した。
 - 畜産経営の安定に関する法律及び独立行政法人農畜産業振興機構法の一部を改正する法律案（閣法第40号）（衆議院送付）について山本農林水産大臣、萩生田内閣官房副長官、義家文部科学副大臣、松本内閣府副大臣、磯崎

農林水産副大臣、矢倉農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、次の参考人から意見を聴き、各参考人に対し質疑を行った。

・質疑

〔質疑者〕

藤木真也君（自民）、小川勝也君（民進）、竹谷とし子君（公明）、紙智子君（共産）、儀間光男君（維新）、森ゆうこ君（希望）

・参考人に対する質疑

〔参考人〕

前北海道農政部長 土屋俊亮君
日本大学生物資源科学部教授 小林信一君
農民運動北海道連合会副委員長 石沢元勝君

〔質疑者〕

藤木真也君（自民）、徳永エリ君（民進）、竹谷とし子君（公明）、紙智子君（共産）、儀間光男君（維新）、森ゆうこ君（希望）

平成29年6月8日（木）（第19回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 畜産経営の安定に関する法律及び独立行政法人農畜産業振興機構法の一部を改正する法律案（閣法第40号）（衆議院送付）について山本農林水産大臣、萩生田内閣官房副長官、松本内閣府副大臣、磯崎農林水産副大臣、義家文部科学副大臣、矢倉農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

〔質疑者〕

平野達男君（自民）、徳永エリ君（民進）、舟山康江君（民進）、竹谷とし子君（公明）、紙智子君（共産）、儀間光男君（維新）、森ゆうこ君（希望）

（閣法第40号）

賛成会派 自民、公明、維新
反対会派 民進、共産
欠席会派 希望

なお、附帯決議を行った。

平成29年6月13日（火）（第20回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 商業捕鯨の実施等のための鯨類科学調査の実

施に関する法律案（参第106号）について発議者参議院議員徳永エリ君から趣旨説明を聴き、政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

山本太郎君（希望）

（参第106号）

賛成会派 自民、民進、公明、共産、維新、希望

反対会派 なし

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 農業災害補償法の一部を改正する法律案（閣法第58号）（衆議院送付）について山本農林水産大臣から趣旨説明を、衆議院における修正部分について修正案提出者衆議院議員岸本周平君から説明を聴き、山本農林水産大臣、萩生田内閣官房副長官、義家文部科学副大臣、磯崎農林水産副大臣、松本内閣府副大臣、矢倉農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、次の参考人から意見を聴き、各参考人に対し質疑を行った。

・質疑

〔質疑者〕

山田俊男君（自民）、小川勝也君（民進）、森ゆうこ君（希望）、竹谷とし子君（公明）、紙智子君（共産）、儀間光男君（維新）、田名部匡代君（民進）

・参考人に対する質疑

〔参考人〕

公益社団法人全国農業共済協会会長 高橋博君

北海道農民連盟書記長 中原浩一君

農民運動北海道連合会委員長 山川秀正君

〔質疑者〕

山田俊男君（自民）、徳永エリ君（民進）、竹谷とし子君（公明）、紙智子君（共産）、浅田均君（維新）、森ゆうこ君（希望）

平成29年6月15日（木）（第21回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 農業災害補償法の一部を改正する法律案（閣法第58号）（衆議院送付）について山本農林水産大臣、松本内閣府副大臣、義家文部科学

副大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

〔質疑者〕

櫻井充君（民進）、紙智子君（共産）、儀間光男君（維新）、森ゆうこ君（希望）

（閣法第58号）

賛成会派 自民、民進、公明、維新

反対会派 共産、希望

なお、附帯決議を行った。

平成29年6月16日（金）（第22回）

- 請願第505号外13件を審査した。
- 農林水産に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。